

# 【福井県福井市】商店街が連携した共同販促体制の構築による賑わい再生

- ・空き店舗の増加に危機感を持った駅前の5つの商店街が連合協議会を設立。
- ・「美しくなれるまち」をテーマに、空き店舗を活用した美容関連11店舗の一斉開業に成功。
- ・駅周辺全体の共同販促を推進する団体により、事業コストを抑制したイベント開催など、賑わいを再生。

## 主なソフト・ハード事業

### ○5つの商店街の連携体制の構築

・郊外型大型店等の影響により、まちなかの商店街で空き店舗が増加。一体的に商店街エリアの価値を向上することを目的に、福井駅前の5つの商店街により、「福井駅前五商店街連合活性化協議会(五連協議会)」を設立(H12年)。イベントの共同開催や共同販促等を実施。

### ○福井駅西口再開発

・福井市は、北陸新幹線の開業(H35年 予定)を見据え、JR福井駅前に、商業・住宅・多目的ホール・自然史博物館分館等を併設した再開発ビル「ハピリン」を整備(H28年)。

・JR福井駅から商店街につながる賑わいの軸を強化し、中心市街地全体の賑わい創出につなげていく。



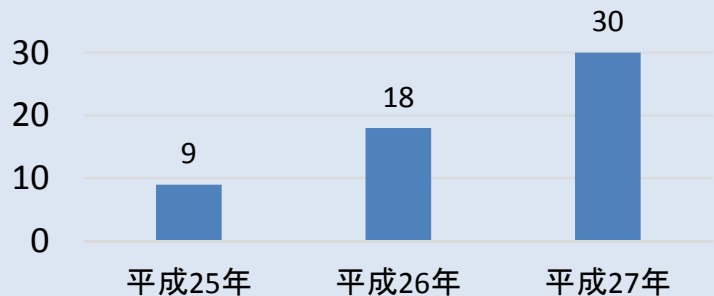
### ○「美しくなれるまち」をテーマにした空き店舗への出店促進

- ・五連協議会は、まちづくりの経験がある外部人材と協力・連携して、街コンや美容体験企画「ワンコインビューティー」を実施(H25年)。その好評を得て、「美しくなれるまち」をテーマとした「美のまちプロジェクト」立ち上げ(H26年)の契機となった。
- ・プロジェクトの目玉として、空き店舗を利用しやすい美容関連業の一斉開業による広告効果・コスト抑制を狙い、空き店舗オーナーの協力を得て、11店舗を一斉開業(H27年)。まちづくり福井(株)も、空き店舗見学ツアーや空き店舗への開業支援を実施。
- ・その後も美容関連業の出店、集積が進み空き店舗数の減少に繋がった(H22年78店舗→H29年43店舗)。

### ○テーマを統一した共同販促組織「EKIMAE MALL」の設立

- ・「美のまちプロジェクト」により、テーマを統一した共同販促の必要性が認識され、さらに、駅西口再開発により、商店主らの意識が変化。美のまちプロジェクト代表者が中心となり、五連協議会、地元百貨店等が連携し、新たな共同販促組織「(一社)EKIMAE MALL」を設立(H28年)。エリア全体を一つのショッピングモールに見立てて回遊を楽しめるまちづくりを図る。
- ・同時に、まちづくり福井(株)の運営サイト「アソビねっ！」に店舗情報等を集約。

中央1丁目空き店舗への開業支援件数  
(単位:件)



#### 《官民協働》

【民】・「美のまちプロジェクト」による美容関連業種の出店促進

・商店街、地元百貨店等が連携した共同販促組織「EKIMAE MALL」の設立

【官】・空き店舗への開業支援、福井駅西口再開発の実施

#### 《市の総合戦略おける関連KPI》

・創業者数 400件(平成27年～平成31年)

・ハピリン来場者数(公共公益施設のみ) 40万人(平成31年)

#### 今後の取組

・北陸新幹線福井開業を見据えた民間再開発への支援。

・中心市街地のまちづくりと連動したリノベーションや出店など民間のまちづくり活動の支援。